

第 18 回 コンクリート構造物の 補修，補強，アップグレードシンポジウム

The 18th JSMS Symposium on Concrete Structure Scenarios

参加者のしおり

(2018 年 9 月 25 日版)

主 催：公益社団法人日本材料学会

日 時：2018 年 10 月 25 日（木），26 日（金）

場 所：金沢商工会議所会館

ご挨拶

社会基盤を支えるコンクリート構造物は、経年劣化に加えて、近年頻発する地震や豪雨などの自然の脅威にもさらされている。我々の社会生活や経済の持続的な発展のためには、斯様な厳しい条件のもとであっても、これらを使い続けるための仕組みが不可欠である。コンクリート構造物を長期にわたり健全な状態に保つ上では、構造物の合理的かつ効果的な維持管理システムの確立が急務であり、今後、技術者・研究者が取り組むべき課題は多岐にわたっている。

このような背景の中、本シンポジウムでは、2001年の第1回目を皮切りに、毎年1回、コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードに関する最新の研究、技術開発およびその適用に関する成果が発表されるとともに、理解を深めるための議論が行われ、今年で18回目を迎える。本シンポジウムへの論文投稿件数は年々増え続けており、当該分野に対する関心の高さと期待の大きさを示す証であり、ありがたく感謝申し上げる次第である。一方で、論文数の増加に伴い、論文報告集の印刷物としてのボリュームがかなり大きなものになることから、今回、実行委員会の議を経て、論文報告集を電子化し、DVDメディアで発刊することとした。この点、関係各位のご理解を賜りたい。

本シンポジウムで発行する論文報告集には、「論文」と「報告」が掲載されている。いずれも、それぞれ査読者3名による査読結果と、それらを踏まえた論文集編集委員会での厳正な審査を経た、最新の有益な成果が示されている。本論文報告集のレベルが高く維持され続けているのは、歴代の実行委員や編集委員の方々および論文の審査に携わっていただいた査読者の皆様方のご尽力の賜物である。改めて謝意を表すとともに、シンポジウムの更なる発展に向けて、今後も変わらぬご理解とご協力をお願いしたい。

なお、今回の金沢でのシンポジウムは、2007年の東京、2014年の福岡に続き、京都以外では3回目の開催となる。今後も、可能であれば、適度なタイミングで京都以外の都市での開催を検討し、本シンポジウムのさらなる認知度の向上・普及にも努めたい。

本シンポジウムは、コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードに係る技術者・研究者が一同に会し、最新の研究成果に接し、交流を図る年に一度の貴重な場である。ここでの成果が、参加者の皆様方の明日の糧になれば幸甚である。

2018年10月

コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウム
実行委員会 委員長 鎌田 敏郎

[招待講演]

第1会場 (11:30~12:30)

講演題目：地域と建築 ―金沢を事例として―

講演者：水野 一郎
(金沢工業大学 教授)

司会：佐川 康貴 (九州大学大学院)

[一般講演]

論文，報告（◇印）ともに：発表 10 分，質疑 5 分

第 1 日目 10 月 25 日（木）

セッション 1 第 1 会場（9:45～11:15）

【鋼材腐食 1】

座長：染谷望（港湾空港技術研究所）・黒田一郎（防衛大学校）

1	電気化学的不動態皮膜破壊と加圧酸素ガス供給によるモルタル埋設鉄の加速腐食	土井康太郎 廣本祥子 秋山英二	物質・材料研究機構 物質・材料研究機構 東北大学
2	分極曲線のデータベースを用いた断面修復部近傍のマクロセル腐食速度解析に関する基礎的検討	花岡大伸 宮里心一 山口圭 網野貴彦	金沢工業大学 金沢工業大学 東亜建設工業 東亜建設工業
3	腐食鉄筋に対する亜硝酸リチウムの防錆性能効果に関する基礎的研究	大塚柚人 櫛原弘貴 添田政司 山田正健	福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学
4	溶融亜鉛めっき鉄筋の普通鋼鉄筋との異種間接触における腐食挙動に関する実験的研究	Hongbok CHOE 西尾悠平 兼松学	東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学
5	高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの塩分浸透性と鋼材腐食に関する研究	藤井隆史 中山敦郎 綾野克紀	岡山大学 岡山大学 岡山大学
6	漏洩磁束法における鉄筋の残留磁化と鉄筋腐食の関係	佐藤大起 寺澤広基 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学

セッション 2 第 2 会場（9:45～11:15）

【耐荷性・疲労 1】

座長：伊藤始（富山県立大学）・服部篤史（京都大学）

7	自動化内面載荷装置を用いたPVC管およびRC管の耐力評価	兵頭正浩 大山幸輝 畑中哲夫 岸本圭司 緒方英彦	鳥取大学 鳥取大学 栗本鐵工所 栗本鐵工所 鳥取大学
8	山間部に位置する早期劣化した道路橋床版の走行荷重実態と耐荷力評価	小野凌平 牧祐之 深田宰史 鳥居和之 鈴木啓悟	金沢大学 金沢大学 金沢大学 金沢大学 福井大学
9	飛来物衝突を受ける超高強度繊維補強コンクリートパネルの耐衝撃性に関する考察	片岡新之介 別府万寿博 武者浩透	防衛大学校 防衛大学校 大成建設
10	載荷試験に基づく塩害劣化した既設 PC 道路橋の構造安全性評価	美濃智広 森川英典	神戸大学 神戸大学

11	CFRP テンドンを使用した桁の挙動に関する数値解析	Hue Thi NGUYEN 榎谷浩 Duc The NGUYEN Tuan Minh HA 深田宰史	金沢大学 金沢大学 金沢大学 金沢大学 金沢大学
12	重交通下における既設PC単純桁の動的挙動に関する一考察	玉置一清 湯浅香織 森川英典 殿井杏梨 高橋篤志	三井住友建設 三井住友建設 神戸大学 神戸大学 兵庫県

セッション3 第3会場 (9:45~11:15)

【力学的性質】

座長：渡辺健（鉄道総研）・三方康弘（大阪工業大学）

13	小口径コア型試験機によるコンクリートの圧縮強度推定法および内部損傷の診断法の提案	野口博之 阿部忠 木内彬喬	日本大学 日本大学 日本大学
14	中空床版橋円筒型枠直上部のコンクリート強度と必要最小床版厚の関係	中村文香 安里俊則 福田雅人 徳光卓	富士ピー・エス 西日本高速道路 西日本高速道路 富士ピー・エス
15	ASRが生じたコンクリートの含水状態が低サイクル圧縮挙動に与える影響に関する基礎的研究	西川泰正 三木朋広	神戸大学 神戸大学
16	丸鋼を用いたRCはりの疲労後の曲げ耐力に関する実験的検討	林田宏 上田多門	寒地土木研究所 北海道大学
17	鉄筋腐食に伴うコンクリート内部ひび割れに対する非破壊試験の組合せによる付着力評価	中川雄斗 宮里心一 大野健太郎	金沢工業大学 金沢工業大学 首都大学東京
18	異なる環境に曝されたFRTPロッドの引張強度およびコンクリートとの付着強度の評価	保倉篤 宮里心一	金沢工業大学 金沢工業大学

セッション4 第4会場 (9:45~11:15)

【表面含浸工法1】

座長：加藤佳孝（東京理科大学）・樋原弘貴（福岡大学）

19	低温環境下でのシラン系表面含浸材の塗布における表面加温のためのガスバーナーの適用性	遠藤裕丈 安中新太郎	寒地土木研究所 寒地土木研究所
20	ひび割れに対するシラン系表面含浸材の適用方法の検討	東洋輔 本荘清司 高橋謙一 原健悟 宮里心一	オリエンタル白石 西日本高速道路 オリエンタル白石 オリエンタル白石 金沢工業大学

21	早期材齢で施工したシラン系表面含浸工の耐久性に関する検討	小松桃子 近藤拓也 仲本善彦 水谷真也 横井克則	高知工業高等専門学校 高知工業高等専門学校 大同塗料 大同塗料 高知工業高等専門学校
22	シラン系表面含浸材の早期施工が水セメント比を変化させたモルタルの収縮性状へ与える影響	國元陸登 小松桃子 近藤拓也 横井克則 仲本善彦	高知工業高等専門学校 高知工業高等専門学校 高知工業高等専門学校 高知工業高等専門学校 大同塗料
23	シラン系表面含浸材の塗布量が表層部の比抵抗・吸水性・遮塩性に及ぼす影響	久保田憲 堀田穰 林承燦 宮里心一	デーロス・ジャパン デーロス・ジャパン デーロス・ジャパン 金沢工業大学
24	シラン系含浸コンクリートの中酸化と鉄筋腐食に関する研究	飯塚弘道 菊池創太 久保善司 山田卓司	旭化成アドバンス 前田建設工業 金沢大学 日本塗料検査協会

セッション5 第1会場 (13:30~15:15)

【鋼材腐食2】

座長：上田隆雄（徳島大学）・審良善和（鹿児島大学）

25	ターフェル外挿法によって測定したコンクリート供試体中鋼材の腐食速度に関する考察	山本悟 阿部健	日本防蝕工業 日本防蝕工業
◇26	腐食ひび割れ幅を利用した鉄筋腐食 RC 部材の詳細調査要否の判定手法に関する検討	山本貴士 高谷哲 中村光 下村匠 宮川豊章	京都大学 京都大学 名古屋大学 長岡技術科学大学 京都大学
27	鉄筋腐食の不均一性が非破壊による分極抵抗の測定値に与える影響	大熊千紗都 岩瀬大真 岡崎慎一郎 吉田秀典	香川大学 香川大学 香川大学 香川大学
28	短繊維補強モルタル中の鉄筋の腐食性状	國枝稔 北川大希	岐阜大学 岐阜大学
29	鉄筋コンクリート部材の鉄筋配置に応じた変状発生限界腐食深さに関する検討	角野拓真 轟俊太郎 渡辺健 田所敏弥	鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所
30	コンクリート中に埋設された溶融亜鉛めっき鉄筋の腐食予測に関する研究	崎原康平 山田義智 砂邊景福	琉球大学 琉球大学 琉球大学

セッション6 第2会場 (13:30~15:15)
【耐荷性・疲労2】
 座長：山田雄太（日本大学）・岡本大（鉄道総合技術研究所）

31	コンクリート舗装補修箇所の輪荷重に対する耐久性評価	加藤祐哉 若林由弥 川島陽子 古賀裕久	土木研究所 国土交通省 土木研究所 土木研究所
32	低弾性PCMと2種類の接着剤を用いたRC床版の上面の薄層補修法における耐疲労性の評価	阿部忠 伊藤清志 児玉孝喜 小堺規行 小林稔	日本大学 日本大学 鹿島道路 住友大阪セメント 日本大学
33	特殊セメントにビニロン繊維を配合した舗装材を用いて接着剤塗布型コンクリート舗装したRC床版の耐疲労性の評価	小林稔 阿部忠 伊藤清志 小林哲夫	日本大学 日本大学 日本大学 住友大阪セメント
34	鉄筋コンクリートブロック接合部の耐荷機構に関する実験的検討	山口岳思 大島義信 岡田太賀雄 大住道生	中日本高速道路 土木研究所 国土技術政策総合研究所 土木研究所
35	鋼角ストッパー周辺の桁端のせん断破壊メカニズムに関する一考察	岡本 圭太 轟 俊太郎 笠倉 亮太 田所 敏弥	鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 東急建設 鉄道総合技術研究所
36	高強度繊維補強モルタルにて巻立て補強したRC部材のせん断耐力に関する実験的検討	笠倉亮太 黒岩俊之 田所敏弥 宇治公隆	東急建設 東急建設 鉄道総合技術研究所 首都大学東京
37	衝撃疲労に対するコンクリート表面の樹脂被覆による保護効果	黒田一郎 奥村健生 堀口俊行 福井秀平	防衛大学校 陸上自衛隊 防衛大学校 IMARI

セッション7 第3会場 (13:30~15:15)
【点検・調査の方法1】
 座長：小澤満津雄（群馬大学）・藤原規雄（国際建設技術研究所）

38	電磁パルス法による多重反射の周波数特性を利用した弾性波伝搬速度の測定とコンクリートの圧縮強度評価への適用可能性	野崎峻 内田慎哉 伊藤始	北電技術コンサルタント 富山県立大学 富山県立大学
39	衝撃弾性波法によるコンクリート部材厚さの推定における鋼球の選定に関する一考察	久保元樹 内田慎哉 岩野聡史	日東建設 富山県立大学 リック

40	衝撃弾性波法に基づく RC 床版の土砂化の検出方法に関する基礎的研究	安井和也 鈴木真 藤原理絵 寺澤広基 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
41	降雨によりランダム励起された弾性波の伝搬特性およびトモグラフィ解析によるひび割れ検出	橋本勝文 塩谷智基 奥出信博 渡部一雄 高峯英文	京都大学 京都大学 京都大学 東芝 東芝
42	衝撃弾性波法を用いた鋼板接着補強 RC 床版における水平ひび割れ評価に関する研究	藤原理絵 鈴木真 寺澤広基 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
43	機械的／電磁的入力での弾性波とコンクリート中鋼材の電磁的応答を統合した PC グラウト非破壊評価手法のための基礎評価	服部晋一 木部大紀 寺澤広基 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
44	弾性波の位相差測定によるひび割れ注入工法での充填状況の確認方法の検討	岩野聡史 渡部正 片岡繁人	リック 日本大学 リック

セッション 8 第 4 会場 (13:30~15:15)

【表面含浸工法 2】

座長：久保善司（金沢大学）・遠藤裕文（寒地土木研究所）

45	含浸系防水材料の強度特性に及ぼす既設 RC 床版の地下状態の影響	小瀬詠理 角掛久雄 遠藤輝 松下麗菜 田村悟士	大阪市立大学 大阪市立大学 大阪市立大学 阪神高速道路 アイゾールテクニカ
46	表面含浸材併用法の凍害に対する効果の明確化	三好孝英 鶴田浩章	関西大学 関西大学
47	20 年相当の耐候性試験後における表面含浸材が塗布されたモルタル供試体の物質透過性	宮崎悠太 宮里心一	太平洋マテリアル 金沢工業大学
48	ステアリン酸の特性に着目した撥水材のコンクリート構造物への適用性に関する研究	山田浩嗣 樫原弘貴 添田政司 大塚柚人 佐藤悠士朗	福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学
◇49	コンクリート用表面含浸材の性能の現状に関する調査報告	佐川康貴 樫原弘貴 松尾栄治 佐々木謙二 小柳典親	九州大学 福岡大学 九州産業大学 長崎大学 国土交通省九州地方整備局

50	不陸調整機能を有する含浸系防水材による床版防水層の品質向上についての研究	田村悟士 青木康素 松下麗菜 小瀬詠理 角掛久雄	アイゾールテクニカ 阪神高速道路 阪神高速道路 大阪市立大学 大阪市立大学
51	10年間の海洋暴露試験における表面含浸材の塩害抵抗性評価	山口誠亮 辻田美帆 審良善和 戴建国 山路徹	鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学 香港工科大学 海上・港湾・航空技術研究所

セッション9 第1会場 (15:30~17:15)

【維持管理】

座長：田中泰司（金沢工業大学）・長田光司（NEXCO 中日本）

◇52	北陸地方の市町における道路橋の維持管理に関するニーズ調査と官学連携の仕組みづくり	宮里心一 深田宰史 伊藤始 鈴木啓悟 花岡大伸	金沢工業大学 金沢大学 富山県立大学 福井大学 金沢工業大学
53	中小自治体のコンクリート橋等維持管理システムにおけるBMSの開発・運用モデルに関する研究	町口敦志 浅永将 近田康夫	金沢大学 石川県 金沢大学
54	橋梁点検データに基づくコンクリート部材の経年劣化予測手法に関する比較考察	小川福嗣 宮地飛馬 近田康夫	金沢大学 金沢大学 金沢大学
55	沖縄県離島架橋の塩害劣化評価のための暴露供試体20年目追跡調査研究	比嘉正也 風間洋 富山潤 砂川勇二 長嶺明	沖縄県建設技術センター アール・アンド・エー 琉球大学 沖縄県 沖縄県
56	橋桁表面に到達する海水飛沫粒子の到達量および粒径分布の現地観測とその数値解析	中村文則 井野裕輝 大原涼平 下村匠	長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学
57	コンクリート表面における飛来塩分収支に関するモデル化	井野裕輝 中村文則 下村匠	長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学
58	薄板モルタル法による海上橋、護岸、海洋建築物の塩害環境評価	佐々木謙二 中山大誠 原田哲夫 松田浩 早野博幸	長崎大学 長崎大学 長崎大学 長崎大学 太平洋セメント

セッション 10 第 2 会場 (15:30~17:15)
 【補修工法 1】
 座長：ハツ元仁 (阪神高速道路) ・ 林和彦 (香川高等専門学校)

59	塩害と ASR の複合劣化コンクリートに対するフライアッシュと亜硝酸リチウムを用いた断面修復材料の適用	上田隆雄 横山直哉 江良和徳 高木祐介 塚越雅幸	徳島大学 西日本旅客鉄道 極東興和 IHI インフラ建設 徳島大学
60	弾性波を用いたコンクリート床版のひび割れ補修評価手法の検討	奥出信博 塩谷智基 西田孝弘 橋本勝文 古野昌吾	京都大学 京都大学 京都大学 京都大学 新日本コンサルタント
61	パネル工法を用いた中空床版橋の床版補修に関する実験的検討	杉江匡紀 安里俊則 福田雅人 徳光卓	富士ピー・エス 西日本高速道路 西日本高速道路 富士ピー・エス
◇62	実構造物に適用した効率施工型再アルカリ化工法の補修効果の検証	小谷洋平 渡辺佳彦 荒巻智 川口隆憲	西日本旅客鉄道 西日本旅客鉄道 西日本旅客鉄道 デンカリノテック
63	凍結防止剤散布下における ASR 再劣化後の橋梁への補修効果に関する検討	菊池創太 Ho Hong SAO 久保善司	前田建設工業 金沢大学 金沢大学
64	劣化下地に対する簡易はく落防止工法の開発	尾藤陽介 岡澤臣樹 伊藤恵美 堀井久一	コニシ ボンドエンジニアリング ボンドエンジニアリング コニシ
65	長期耐久性を考慮した表面被覆工法の剥落防止性に対する一考察	新名勉 正木健太 佃洋一 山田卓司	阪神高速道路 阪神高速技研 日本塗料検査協会 日本塗料検査協会

セッション 11 第 3 会場 (15:30~17:15)
 【点検・調査の方法 2】
 座長：水田真紀 (理化学研究所) ・ 大野健太郎 (首都大学東京)

66	衝撃弾性波法によるコンクリートダム打継面評価のための基礎的研究	市川滋己 永井哲夫 鎌田敏郎	水資源機構 ダイヤコンサルタント 大阪大学
67	電磁パルス法を用いて入力したコンクリート内部の弾性波発信源が伝搬速度の測定誤差に与える影響	高鍋雅則 三輪秀雄 加賀敏明 和高修三 長岡康之	アミック アミック アミック アミック アミック
68	表面波トモグラフィによる損傷深さの評価に関する検討	小西雄治 小椋紀彦 塩谷智基	CORE 技術研究所 CORE 技術研究所 京都大学

69	環境振動によるコンクリート表面振動の光学的可視化を用いたひび割れ検知	宗岡拓弥 畠堀貴秀 松本理佐 服部篤史 河野広隆	京都大学 島津製作所 京都大学 京都大学 京都大学
70	衝撃加振装置による橋梁床版の劣化度評価に関する研究	門寺将志 Nguyen Thu Nga 榎谷浩 横山広 植野芳彦	金沢大学 金沢大学 金沢大学 大日本コンサルタント 富山市
71	加振レーダを用いたイメージングによる鉄筋部位の高精度振動変位推定	堀内亮太 三輪空司	群馬大学 群馬大学
72	加振レーダ法における振動変位とコンクリートの弾性係数依存性の検討	飯野和樹 三輪空司 迫井裕樹 小澤満津雄 阪口裕紀	群馬大学 群馬大学 八戸工業大学 群馬大学 丸栄コンクリート

セッション 12 第 4 会場 (15:30~17:15)

【凍害】

座長：佐川孝広（前橋工科大学）・橋本紳一郎（千葉工業大学）

73	コンクリート界面の脆弱部を改善した断面修復部の耐凍害性に関する実験的研究	宇野剛志 内藤勲 横田弘	北海道大学 寒地土木研究所 北海道大学
74	積雪寒冷地における鋼橋 RC 床版の骨材劣化の特徴	野村昌弘 安藤陽子 広野真一 津田誠 鳥居和之	野村昌弘の研究所 金沢大学 太平洋コンサルタント 石川工業高等専門学校 金沢大学
75	凍結融解作用を受けたコンクリートの損傷程度の非破壊評価に関する研究	佐藤隆大 今本啓一 清原千鶴	東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学
76	高炉スラグ微粉末の置換率が異なるコンクリートの耐凍害性に及ぼす中性化の影響	佐藤亮太 野口巧巳 金準鎬 濱幸雄	室蘭工業大学 室蘭工業大学 室蘭工業大学 室蘭工業大学
77	シリコーンオイルを添加したモルタルの中空形状材料による耐凍害性の改善に関する研究	安田僚介 岸本豪太 崔亨吉 濱幸雄	室蘭工業大学 東洋建設 慶北大学校 室蘭工業大学
78	コンクリートの初期材齢時の凍結による強度増進停滞機構に関する研究	古館茉由子 島影亮司 山下紘太郎 濱幸雄	室蘭工業大学 太平洋セメント 鴻池組 室蘭工業大学

79	染色浸透探傷試験によるコンクリートの凍害深さの簡易的な評価手法	米谷 怜 都築 敦大 千歩 修 福山 智子	北海道大学 北海道大学 北海道大学 立命館大学
----	---------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

第2日目 10月26日(金)

セッション13 第1会場 (9:00~10:30)
【電気防食工法1】

座長：山口明伸（鹿児島大学）・皆川浩（東北大学）

80	積雪寒冷地に建設された塩害劣化RC床版の電気化学的補修工法の適用性	亀田浩昭 青山敏幸 石井浩司 鳥居和之	金沢大学 ピーエス三菱 ピーエス三菱 金沢大学
81	電気化学的脱塩工法を適用した橋脚の24年間の追跡調査	宮口克一 七澤章 近江涉 上田隆雄	デンカ デンカ デンカリノテック 徳島大学
◇82	既設PC橋のウェブに生じた局所的な塩害劣化メカニズムと表面設置型点状流電陽極工法を用いた腐食緩和対策に関する検討	鴨谷知繁 青山敏幸 深川直利 石井浩司	ピーエス三菱 ピーエス三菱 ピーエス三菱 ピーエス三菱
83	塩害劣化した道路橋床版に対する点状陽極と線状陽極を併用した電気防食工法の適用性に関する検討	山本誠 谷井敬春 羽瀨貴士 峰松敏和 網野貴彦	住友大阪セメント 中日本高速道路 東亜建設工業 住友大阪セメント 東亜建設工業
◇84	電気防食における陽極被覆材の剥がれが防食効果に及ぼす影響	小林浩之 山口岳思 石田雅博 山本誠 峰松敏和	ナカポーテック 土木研究所 土木研究所 住友大阪セメント 住友大阪セメント

セッション14 第2会場 (9:00~10:30)
【補修工法2】

座長：国枝稔（岐阜大学）・佐々木亘（三井住友建設）

85	強アルカリ水浸漬によるコンクリート補修用表面被覆材の付着性能の劣化特性に関する検討	中西智美 藤崎陽平 森川英典 竹口昌弘	神戸大学 神戸大学 神戸大学 本州四国連絡高速道路
86	既設コンクリートの断面修復がエポキシ樹脂で接着したブラケット構造の破壊荷重に与える影響	木村俊紀 石川直 中井督介 荒添正棋 山本貴士	IHI インフラ建設 IHI インフラ建設 エスイー 新日鉄住金マテリアルズ 京都大学
87	屋外に暴露した断面修復材の付着強度の変化とその要因検討	片平博 古賀裕久	土木研究所 土木研究所

88	群配置された金属系あと施工アンカーの引張耐力に関する研究	中村英佑 水戸健介 古賀裕久	土木研究所 土木研究所 土木研究所
89	あと施工アンカーの埋込み長さがクリープ挙動に及ぼす影響	安藤重裕 中野克彦 小田聡 田沼毅彦 有木克良	住友大阪セメント 千葉工業大学 都市再生機構 都市再生機構 都市再生機構
90	突出長が異なる接着系あと施工アンカーの埋込長不足を対象とした電磁パルス法による非破壊評価手法	吉田風雅 服部晋一 寺澤広基 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学

セッション 15 第 3 会場 (9:00~10:30)

【点検・調査の方法 3】

座長：渡辺健（徳島大学）・麓隆行（近畿大学）

91	増厚床板下の水平ひび割れ探査のための加振ドップラレーダシステムの開発	清水俊秀 三輪空司 鈴木真 鎌田敏郎	群馬大学 群馬大学 大阪大学 大阪大学
92	ひび割れ注入工法の未充填部に生じた凍害劣化の X 線 CT による分析	内藤勲 櫻庭浩樹 安中新太郎 横田弘	寒地土木研究所 土木研究所 寒地土木研究所 北海道大学
93	X 線 CT 計測に基づくひび割れコンクリートの定量的損傷度評価	鈴木哲也 石神暁郎 島本由麻	新潟大学 寒地土木研究所 北里大学
94	空間統計解析を用いた熱画像のノイズ除去処理による 複合材内部欠損の検出	高橋航 鈴木哲也	新潟大学 新潟大学
95	ひび割れ発生および補修後に分極抵抗法を適用する際の比例定数 K 値に関する検討	金光俊徳	電力中央研究所

セッション 16 第 1 会場 (10:45~12:30)

【電気防食工法 2】

座長：網野貴彦（東亜建設工業）・川俣孝治（中研コンサルタント）

96	栈橋を模した長尺試験体によるコンクリート中鉄筋の電気防食効果に関する検討	田土弘人 山路徹 小林浩之 濱田秀則	海上・港湾・航空技術研究所 海上・港湾・航空技術研究所 ナカポーテック 九州大学
◇97	鉄道トンネル中央通路側壁に対する埋設型点状流電陽極工法の適用性に関する検討	北里龍馬 湯浅康史 渡辺佳彦 鴨谷知繁 池田政司	西日本旅客鉄道 西日本旅客鉄道 西日本旅客鉄道 ピーエス三菱 ピーエス三菱

98	塗布型二次陽極を用いた電気防食工法に関する基礎研究	神田利之 若杉三紀夫 峰松敏和 国枝稔	岐阜大学 ケミカル工事 テクノミネッツ 岐阜大学
99	コンクリート中鋼材を間欠通電によって電気防食した場合の腐食環境と防食効果に関する実験的検討	阿部健 佐々木亘 山本悟 三村典正 峰松敏和	日本防蝕工業 三井住友建設 日本防蝕工業 ショーボンド建設 住友大阪セメント
◇100	橋梁桁端狭隘部を対象とした電気防食工法の開発	佐々木亘 山本誠 峰松敏和 清水宏一朗 藤原保久	三井住友建設 住友大阪セメント 住友大阪セメント 三井住友建設 三井住友建設
101	間欠通電による電気防食工法の適用性に関する基礎的研究	佐々木徹 山本誠 小林浩之 加藤智丈 皆川浩	土木研究所 住友大阪セメント ナカポーテック ショーボンド建設 東北大学

セッション 17 第 2 会場 (10:45~12:30)

【材料特性 1】

座長：村上祐貴（長岡工業高等専門学校）・高橋佑弥（東京大学）

◇102	無機系短繊維補強コンクリートのフレッシュ性状および硬化性状に関する基礎的検討	井戸康浩 田中徹 仁平達也 笹田航平	戸田建設 戸田建設 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所
◇103	浸食を受けた海岸擁壁の補修パネルに適用した繊維補強無孔性コンクリートの特性	河野克哉 森香奈子 安田瑛紀 牛渡裕二 川瀬良司	太平洋セメント 太平洋セメント 太平洋セメント 構研エンジニアリング 構研エンジニアリング
◇104	長時間養生したセメント硬化体の微細組織	Thi Hai Yen NGUYEN 土谷浩一 新大軌 横田弘	物質・材料研究機構 物質・材料研究機構 島根大学 北海道大学
◇105	火害を受けたコンクリートのエコーチップ硬さ試験の適用性と飽水度の影響に関する検討	大野健太郎 内田慎哉 岩野聡史 春畑仁一	首都大学東京 富山県立大学 リック 日本建築総合試験所
106	マスコンクリートに発生するひび割れ幅に各種要因が与える影響に関する検討	宮田佳和 服部篤史 河野広隆	清水建設 京都大学 京都大学
107	リング拘束供試体を適用した補修用モルタルの爆裂発生プロセスに基づく爆裂性状に関する一考察	杉野雄亮 谷辺徹 小澤満津雄	太平洋マテリアル 太平洋マテリアル 群馬大学

108	リング拘束試験のリングの分割数がコンクリートの爆裂性状に与える影響	赤坂春風 小澤満津雄 阿久津裕亮 杉野雄亮	群馬大学 群馬大学 群馬大学 太平洋マテリアル
セッション 18 第3会場 (10:45~12:30) 【点検・調査の方法 4】			
座長：細田暁 (横浜国立大学) ・大島義信 (土木研究所)			
109	塩分センサを活用したはつり面の塩分量測定方法の提案	櫻庭浩樹 西村俊弥 中村英佑 古賀裕久	土木研究所 物質・材料研究機構 土木研究所 土木研究所
110	電気化学インピーダンス法によるモルタル中鉄筋の腐食モニタリング	片山英樹 山田茉耶 星芳直 四反田功 板垣昌幸	物質・材料研究機構 東京理科大 東京理科大 東京理科大 東京理科大
111	コンクリート中鉄筋に電気化学測定を適用する際の測定電流の広がりに対する補正方法の検討	橋本永手 加藤佳孝 平間昭信 渡辺佳彦	東京理科大学 東京理科大学 飛島建設 西日本旅客鉄道
112	二電極法に基づくセル定数を用いたモルタルの電気抵抗率の算定方法	渡邊雅大 眞下裕也 服部晋一 寺澤広基 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
113	小型中性子源および即発 γ ガンマ線分析を用いたコンクリート構造物内塩分濃度分布の屋外利用非破壊診断技術の開発	若林泰生 吉村雄一 水田真紀 大竹淑恵 池田裕二郎	理化学研究所 理化学研究所 理化学研究所 理化学研究所 日本原子力研究開発機構
114	中性子イメージングを適用した水セメント比の異なるコンクリートの水分浸透抵抗性評価	吉村雄一 水田真紀 須長秀行 大竹淑恵 林崎規託	東京工業大学 理化学研究所 理化学研究所 理化学研究所 東京工業大学
115	中性子ビーム技術を用いた鉄筋コンクリートの変形破壊挙動の評価	上野一貴 鈴木裕士 小山拓 西尾悠平 兼松学	東京理科大学 日本原子力研究開発機構 東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学

セッション 19 第 1 会場 (13:30~15:30) 【補強工法】			
座長：鶴田浩章 (関西大学) ・三木朋広 (神戸大学)			
116	接合部付近で劣化損傷した栈橋鋼管杭に対する超高強度繊維補強セメント系材料巻立てによる補強効果に関する解析的検討	小林雄一 國枝稔 網野貴彦 住谷圭一	東亜建設工業 岐阜大学 東亜建設工業 東亜建設工業
117	作用軸力およびせん断スパン比の違いが炭素繊維複合パネルによる柱の耐震補強効果に及ぼす影響検討	河村圭亮 畑明仁 新藤竹文 松岡康訓 菅野道昭	大成建設 大成建設 大成建設 成和リニューアルワークス 成和リニューアルワークス
◇118	連続繊維シート補強工に使用される保護モルタルの浮き原因調査	野々村佳哲 内藤勲 安中新太郎	寒地土木研究所 寒地土木研究所 寒地土木研究所
119	CFS 接着補強法にポリウレシア樹脂を用いた RC 床版の輪荷重走行実験による補強効果および耐疲労性の評価	小森篤也 阿部忠 水口和彦 小林朗	日鉄ケミカル&マテリアル 日本大学 日本大学 日鉄ケミカル&マテリアル
120	展張格子筋を用いて接着剤塗布型 PCM 補強したボックスカルバートの補強効果および実用性の検証	新田裕之 阿部忠 塩田啓介 吉岡泰邦	日本大学 日本大学 JFE シビル JFE シビル
121	軽量 RC 床版の補強方法に関する検討	井田達郎 岸田政彦 樋口祐治 松井繁之	首都高速道路 首都高速道路 パシフィックコンサルタンツ 大阪大学
122	せん断破壊した RC 梁に対する両端ねじ式復旧工法の有効性	柴山淳	電力中央研究所
123	高耐久性埋設型枠を用いた RC はりの曲げせん断試験におけるせん断補強効果	永松牧子 海部貴裕 松田浩 岡本賢治 鶴田健	長崎大学 長崎大学 長崎大学 マテラス青梅工業 マテラス青梅工業
セッション 20 第 2 会場 (13:30~15:30) 【材料特性 2】			
座長：新大軌 (島根大学) ・宮本慎太郎 (東北大学)			
124	塩化物水溶液環境下での応力腐食割れ試験に基づく PC 鋼線の破断特性の検討	黒野承太郎 美濃智広 森川英典 河村睦	神戸大学 神戸大学 神戸大学 神鋼鋼線工業
125	高炉セメントコンクリートの耐久性におよぼすフライアッシュ混合の影響	中山大誠 佐々木謙二 原田哲夫	長崎大学 長崎大学 長崎大学

126	ポリマーセメントモルタルの接着強さに及ぼす下地の種類及び養生条件の影響	西田電 齋藤俊克 出村克宣 掛川勝	日本大学 日本大学 日本大学 太平洋マテリアル
127	自己修復システムを付与したコンクリートの止水性および補修剤の充填性評価に関する実験的研究	田中寛人 今本啓一 清原千鶴	東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学
128	モルタルの乾燥程度が液状水移動と塩分浸透特性に与える影響	金氏裕也 黒田保 吉野公 波田野晟大	鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学
129	各種収縮低減材料が繊維補強ポリマーセメントモルタルの硬化収縮性状に及ぼす影響	乙茂内郁美 川村和史 崔亨吉 濱幸雄	室蘭工業大学 北電総合設計 慶北大学校 室蘭工業大学
130	接触爆発を受けるコンクリート板の裏面剥離抑制法に関する実験的研究	長谷川大 別府万寿博 小川敦久 福井秀平 大野友則	防衛大学校 防衛大学校 クラレ IMARI 防衛大学校
131	環境配慮コンクリートを使用したセグメントの実用化検討	松元淳一 堀口賢一 坂本淳	大成建設 大成建設 大成建設

セッション 21 第 3 会場 (13:30~15:30)

【点検・調査の方法 5】

座長：兼松学（東京理科大学）・近藤拓也（高知工業高等専門学校）

132	シリンダーを用いた簡易透気試験による実大コンクリート壁を対象とした表層品質評価の検討	面矢建次郎 渡辺健 小谷健太 関川昌之 橋本親典	徳島大学 徳島大学 徳島大学 マルイ 徳島大学
133	屋外へ 10 年暴露した鉄筋コンクリート供試体の DEF による膨張挙動	森寛晃 小川彰一	太平洋セメント 太平洋コンサルタント
134	炭素繊維シート補強された鋼道路橋 RC 床版の健全性点検技術	古賀秀幸 内藤英樹 安倍敦 宮内健	オリエンタルコンサルタンツ 東北大学 オリエンタルコンサルタンツ オリエンタルコンサルタンツ
◇135	上面増厚工法施工後に再劣化した RC 床版の損傷評価に関する基礎的研究	鈴木真 寺澤広基 服部晋一 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
136	栈橋上部工への新しい点検技術の適用に関する一考察 ～LCC と NPV の観点から～	川端雄一郎 加藤絵万 岩波光保 横田弘	海上・港湾・航空技術研究所 海上・港湾・航空技術研究所 東京工業大学 北海道大学

137	栈橋上部工の塩化物イオン濃度分布とかぶりのばらつきを考慮した確率論的な塩害劣化予測と実際の劣化状況の比較検討	濱田洋志 石川嘉崇 網野貴彦 西田浩太	東亜建設工業 電源開発 東亜建設工業 東亜建設工業
138	実橋調査との比較による塩分浸透予測の前提条件に関する一考察	渡辺遼 大島義信 山口岳思 石田雅博	土木研究所 土木研究所 中日本高速道路 土木研究所

[スケジュール]

会 場	第 1 会場 (ホール)	第 2 会場 (大会議室)	第 3 会場 (研修室 1-A)	第 4 会場 (研修室 1-B)
第 1 日目 10 月 25 日 (木)				
9:00~9:30	受 付			
9:30~9:35	開会式	—	—	—
9:35~9:45	休 憩			
9:45~11:15	セッション 1 【鋼材腐食 1】	セッション 2 【耐荷性・疲労 1】	セッション 3 【力学的性質】	セッション 4 【表面含浸工法 1】
11:15~11:30	休 憩			
11:30~12:30	招待講演	—	—	—
12:30~13:30	昼 食			
13:30~15:15	セッション 5 【鋼材腐食 2】	セッション 6 【耐荷性・疲労 2】	セッション 7 【点検・調査の方法 1】	セッション 8 【表面含浸工法 2】
15:15~15:30	休 憩			
15:30~17:15	セッション 9 【維持管理】	セッション 10 【補修工法 1】	セッション 11 【点検・調査の方法 2】	セッション 12 【凍害】
17:15~17:45	懇親会受付	—	—	—
17:45~19:15	懇親会	—	—	—
第 2 日目 10 月 26 日 (金)				
8:30~9:00	受 付			
9:00~10:30	セッション 13 【電気防食工法 1】	セッション 14 【補修工法 2】	セッション 15 【点検・調査の方法 3】	
10:30~10:45	休 憩			
10:45~12:30	セッション 16 【電気防食工法 2】	セッション 17 【材料特性 1】	セッション 18 【点検・調査の方法 4】	
12:30~13:30	休 憩			
13:30~15:30	セッション 19 【補強工法】	セッション 20 【材料特性 2】	セッション 21 【点検・調査の方法 5】	
15:30~15:45	休 憩			
15:45~16:15	閉会式	—	—	